

第57回 高岡地区中学校総合選手権大会 相撲競技実施要項

- 1 期 日 令和4年6月11日(土)
- 2 日 程

役員集合	8時50分
受付	9時00分
計量	9時10分
監督会議	9時20分
開会宣言	9時30分
競技開始	9時45分
閉会宣言	11時00分
- 3 会 場 グリーンパークだいもん相撲場 射水市二口3142
電話 0766-52-4655 (射水市大門体育館)
- 4 実施内容 団体戦および体重別個人戦(ガイドライン抜粋を含む)
 - ・参加校の顧問、外部指導者、生徒は当日の朝、必ず検温し、健康チェック表を大会本部に提出する。少しでも感染症状が見られる場合は、参加させない。
 - ・開会式、閉会式の簡略化を行う。
 - ・試合中以外のほぼすべての場面において、3密(密閉、密集、密接)の排除やソーシャルディスタンス(1~2m)の確保、手洗いの徹底、マスク着用、手指や共通で接触する物の消毒を徹底する。
 - ・選手は試合の前後に消毒用アルコールティッシュ等で体を拭くことが望ましい。(アレルギー等も考えられるので、各自持参することが望ましい。)
 - ・選手に対して、大声での声援、指導等を控える。
 - ・大会終了後、使用した用具等は消毒する。
 - ・熱中症対策として、水分補給の時間を設ける。
 - ・新型コロナウイルス感染症対策として、試合方法を簡略化して進行する場合がある。(個人戦をすべてトーナメント形式で行うなど。)
 - ・その他別紙参照
- 5 競技方法
 - 団体戦
 - ・監督1名、選手3名、交代2名の計6名でチームを編成する。
 - ・リーグ戦とし、勝率、得点で順位を決定する。
 - 個人戦
 - ・体重別トーナメント戦で行う。人数制限はなしとする。
 - ・65kg未満、65kg以上85kg未満、85kg以上の3階級とする。
 - 競技規則
 - ・日本相撲連盟競技会規程及び審判規定による。
 - ・全国中体連相撲競技規程及び審判規定による。
- 6 表 彰
 - ・団体戦においては上位3校(3位)まで表彰する。
 - ・個人戦においては3位まで表彰する。
- 7 申し込み期日
 - ・令和4年5月30日(月)必着
 - ・申し込み先 〒933-0057
高岡市広小路7-1 志貴野中学校 中村 昌寛まで
※ 電話(0766)-22-0437 FAX可 (0766)-22-0386
※ 後日、本申込書を郵送して下さい。
- 8 その他
 - ・大会当日のオーダー変更は認めない。
 - ・試合では、各チームとも校名入りのゼッケンを着用する。
 - ・選手は黒あるいは紺のスパッツを着用する。
 - ・高岡・砺波地区上位4チーム及び個人各階級上位8名は、グリーンパークだいもん相撲場で行われる県総合選手権大会の出場資格を得る。
 - ・県総合選手権大会に出場が決定した学校は、エントリーする者一人につき1000円の参加料を大会終了後に徴収する。
 - ・生徒一人につき一種目だけの出場となる。
 - ・外部指導者は、出場校の校長が認め、所定の様式で県中体連に届出された者であること。
 - ・引率者・コーチは当該校の校長・教員・部活動指導員であること。

相撲競技 ガイドライン

- ・ 公益財団法人日本相撲連盟競技委員会が作成した、「相撲における競技会再開ガイドライン新型コロナウイルス感染症対策」の基準を参考にガイドラインを制定する。

「協議会開催準備」

- 1) 会場選定
 - ①密集対策として参加者（選手・役員）が、最低1mの間隔を保つことができる施設を選定する。
 - ②応援者・観客については、最低1mの間隔が保てるよう入場を制限する。
- 2) 会場設営
 - ①感染防止に関する注意事項を適切な場所に掲示し、周知を図る。
 - ②手洗い場やアルコール消毒場所を設置する。
 - ③複数の参加者が触れると考えられる場所の消毒を行う。
 - ④東西の土俵溜では選手・副審の距離を可能な限り保つ。

「健康確認」

- 1) 主催者は、参加者（選手・役員・監督・コーチ）に対し、当日の体温の他、競技会2週間前における以下の事項の有無について情報提供を求める。
 - ・発熱、風邪の症状、倦怠感、呼吸困難、嗅覚味覚異常、新型コロナウイルス感染症陽性者との濃厚接触の有無、同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる、出入国をしている
- 2) 主催者は、参加者のうち当日の体温が平熱を越えるものや、1)の各事項について該当するものに対し参加の見合わせを求める。
- 3) 主催者は、応援者・観客に対して1)の各事項に該当する場合は、入場の見合わせを求める。

「当日の受付」

- 1) 窓口に手指消毒液を設置する。
- 2) スタッフはマスクを着用する。
- 3) 入場者に対してマスクの着用を求める。
- 4) 体調確認を行い、体調不良者の入場制限を行う。

「参加者の行動」

- 1) 競技時以外は、マスクを着用し、こまめに手洗い（30秒以上）、手指消毒を行う。また、真正面での会話を避ける。
- 2) 会場では、常に3密を避けるよう心がける。
- 3) タオル、水分は自分専用のもを使用し、排水は定められた場所で行う。
- 4) 出場選手は、取り組み前後に消毒用アルコールティッシュ等で手指の他、顔、胸、肩等を拭く。（アレルギー等も考えられるので、各自持参することが望ましい。）
- 5) 大声での声援等を禁止とし、競技時以外では、十分な距離を保って観戦する。
- 6) 主審以外の審判は、競技中もマスクを着用する。
- 7) 主審は、飛沫拡散に配慮し、通常より1歩程度後ろで動作を行う。
- 8) 異議申し立てがある場合、副審は、マスク着用の上距離を保って協議を行う。
- 9) 競技会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に速やかに報告する。

「応援者・観客の管理」

- 1) 体調不良者の入場は認められない。
- 2) マスクを着用していない者の入場を認めない。
- 3) 十分な距離を保つ。
- 4) 手洗い、消毒をこまめに行う。
- 5) 大声での声援を禁止とする。
- 6) 上記の事項について、順守できない者は退場を求める。

「会場責任者の対応」

- 1) 会場責任者は、ガイドラインが順守されているかを巡回・確認する。
- 2) 感染予防に反する行為を見かけた場合は口頭注意をし、是正されない場合は退場を命ずる。
- 3) 開会式・閉会式は原則行わず、開会宣言、閉会宣言のみを放送で行うことが望ましい。
- 4) 表彰式は、マスク着用の上、簡潔に行う。

「その他」

- 1) 飲食は指定場所外で行わず、周囲の人と距離をとり対面を避け、会話は控えめにすること。
- 2) トイレの使用後は、手洗いを30秒以上行い、自分専用のタオルで手を拭く。
- 3) ゴミの取り扱いについては、各自が持ち帰る。
- 4) 感染予防に必要な消毒液、アルコールティッシュ及び石けん等はできる限り各自が確保する。
- 5) 参加者等から収集した個人情報については、責任をもって管理し、廃棄する。